第20講　国際経済②

1　南北問題と南南問題

①南北問題→1960年代に表面化

南半球に多い**発展途上国〔開発途上国〕**と北半球に多い**先進国〔先進工業国〕**との間の**経済格差**とそれに付随(ふずい)する諸問題（識字率(しきじりつ)の低さなど）。背景に，19世紀以降の欧米による植民地支配がある。第二次世界大戦後，政治的には独立を達成したが，経済的自立は立ち遅れたままの国が多い。

※特定の**一次産品**（農産物・鉱産物など）に偏(かたよ)った**モノカルチャー経済**，前近代的な社会構造の残存，乏しい資本蓄積と低い技術など。

※世界人口約78億人のうち，約8割が途上国に暮らしている。

②格差是正への取り組み

A　**OPEC〔石油輸出国機構〕**（1960年）

欧米の**メジャー〔国際石油資本〕**に対抗する石油輸出国のカルテル。2020年現在，13カ国（←エクアドル2020年1月脱退）。

B　**UNCTAD〔国連貿易開発会議〕（1964年）→「援助よりも貿易を」**

発展途上国側の要求により設立。第一回総会に提出された事務局長による「**プレビッシュ報告**」では，先進国に対し経済援助だけでなく，一次産品価格安定のための商品協定・**一般特恵(とっけい)関税**など交易条件の改善も求めた。

※「**フェアトレード**〔公正な貿易〕」は先進国側がもつべき重要な視点。
1968年の第二回総会では「援助も貿易も」のスローガンが掲げられた。

C　**UNDP〔国連開発計画〕**（1966年）

発展途上国への技術援助を実施。1990年代には生活水準を指標化したHDI〔人間開発指数〕が作成され，途上国の生活の向上をはかっている。

D　**OAPEC〔アラブ石油輸出国機構〕**（1968年）

アラブ産油国が結成した国際組織。2020年現在，OPEC加盟国6カ国を含む10カ国（←サウジアラビア・アルジェリア・アラブ首長国連邦・イラク・クウェート・リビアが共通）。

E　**資源ナショナリズム**の台頭

資源を保有する発展途上国の，**天然資源に対する恒久主権**の主張。第一次石油危機（1973年）後，74年に開かれた**国連資源特別総会**で**NIEO〔新国際経済秩序〕樹立に関する宣言**を採択。

※天然資源に対する保有国の権利，多国籍企業の規制，一次産品の価格保

障など，発展途上国側の意見が採用された。

③南南問題

1970 ～ 80 年代にかけて，発展途上国間の経済格差が表面化してきた。

A　世界の**産油国**（2019 年）

１位アメリカ・２位ロシア・３位**サウジアラビア**・４位**イラク**・５位カナダ・６位中国・７位**アラブ首長国連邦**・８位ブラジル・９位**クウェート**・10 位**イラン**

B　**経済成長国→開発独裁**の場合も多い

あ　**中南米 NIES〔新興工業経済地域〕**→ 1970 年代から台頭

メキシコ・ブラジル・アルゼンチンなどは，輸入品の国産化を目指す**輸入代替工業化政策**で成長を果たしたが，80 ～ 90 年代には累積（るいせき）債務問題やその後の構造調整改革の影響で停滞した。

い　**アジア NIES〔新興工業経済地域〕**→ 1980 年代から台頭

韓国・シンガポール・台湾・香港という４つの国・地域は，輸入代替から**輸出志向工業化政策**への転換に成功し，成長を果たした。

う　その他

ASEAN 諸国のベトナム・タイ・マレーシアなどは，2000 年代の新興国として成長が著しい。

※中国やインド，アジア NIES も含め，アジアは「世界経済の成長センター」。

C　**BRICS**

人口が多く国土も広い**ブラジル・ロシア・インド・中国**に成長が著しい**南アフリカ**を加えた５カ国。

※新興市場〔エマージング＝マーケット〕の代表。

D　VISTA

ベトナム・インドネシア・南アフリカ・トルコ・アルゼンチンの新興５カ国。

E　**最貧国**

LDC〔LLDC・後発開発途上国〕とも。アフリカのソマリア，アジアのブータン，中米のハイチなど。

※国連の経済社会理事会により３年ごとに認定基準が見直されるが，現在 47 カ国が該当している。

※とくにアフリカ諸国には，**人間の基本的ニーズ〔BHN〕**を充足させるため，先進国からの緊急援助が必要な国も多い。

④累積債務問題

先進国や国際金融機関からの借金（元金＋利子）が膨(ふく)らみ，返済が困難となっていること。とくに中南米 NIES と最貧国を中心に話題となっている。

※緊縮財政・民営化・輸出志向などのコンディショナリィ〔条件〕を設定したうえで**リスケジューリング〔債務返済繰り延べ〕**や債務軽減を行い，**デフォルト〔債務不履行〕**の危機を回避する。

⑤貧困問題

人口爆発，**食料危機と飢餓(きが)**問題など。1996 年にはイタリアのローマで初めての世界食料サミットが開催された。

※インド生まれの経済学者**アマルティア＝セン**は，所得と消費の向上を通じた満足や幸福よりも，**潜在能力〔ケイパビリティ〕**の向上を通じた成長を重視する人間開発論を提唱し，1998 年にアジア人として初めてノーベル経済学賞を受賞した。

※2000 年に**国連ミレニアム宣言**が採択され，2015 年までの**ミレニアム開発目標〔MDGs〕**が８項目にわたりまとめられた。

※さらに持続可能な開発目標〔SDGs〕（2016 ～ 30 年，17 項目）も設定。

※スラム，ストリートチルドレン，低い識字率，貧困の悪循環などさまざまな問題を抱える。

⑥ ODA〔政府開発援助〕

発展途上国に対して先進国の政府が行う経済援助のうち，グラント＝エレメント〔GE・贈与比率〕が 25％以上のものをいう。パリに本部がある**OECD〔経済協力開発機構〕**の下部機関 **DAC〔開発援助委員会〕**が ODA を調整・促進する。国連の目標は GNP〔国民総生産〕すなわち **GNI〔国民総所得〕比 0.7％**（1972 年までは１％）としている。

Ａ　二国間援助

　あ　贈与→ GE100％

　　無償資金援助（消費財や資金）と技術協力。

　い　借款

　　有償資金援助。

Ｂ　多国間援助

　国際金融機関への拠出金。

２　日本の役割

2019年末時点で，日本は29年連続で**世界最大の債権国**となった。**経済大国**である日本は，海外からの期待も大きく，政治・経済・平和・安全保障・環境・福祉・科学技術などさまざまな分野で国際協力が求められている。

※民間でも，貧困層を対象とした持続可能な**BOPビジネス**など新たなビジネスモデルの模索が必要。

※内需拡大を進めて市場を開放し，グローバルな**サプライチェーン**（＝供給活動の連鎖(れんさ)構造）を再構築することにより，世界経済の発展に寄与することも求められている。

① ODA〔政府開発援助〕

A　供与額は世界有数（第４位）だが**対GNI比率が低い**

B　GEが低く**有償資金援助〔円借款〕比率が高い**

C　資金の使用方法に制限があるタイド〔紐(ひも)つき〕援助が多かったが現在は低下

D　**援助対象国はアジア諸国中心**

E　交通・運輸・通信・発電所などインフラ整備に偏重→企業進出のため？

F　環境破壊などの批判もあり

G　1992年**ODA大綱**４原則→2003年新ODA大綱→2015年**開発協力大綱**へと発展

※ODA大綱４原則は，環境と開発の両立・軍事的用途への使用回避・途上国の軍事輸出などの動向に十分注意を払う，民主化の促進などに注意を払う，の４つ。

※近年では,JICA〔国際協力機構〕の主要事業である**青年海外協力隊**〔JOCV〕など「顔の見える援助」が高い評価を得ている。

② NGO〔非政府組織〕の活動

NGOやNPO〔非営利組織〕と政府・経済界が対等な関係を保ちつつ，それぞれの特性を生かし協力・連携する「ジャパン＝プラットフォーム」という仕組みが設立されている。

※環境・開発・人権・医療・平和などの分野において，専門知識や経験を生かした自発的で非営利的な社会貢献活動が展開されている。

３　日本のFTA・EPA

① FTA〔自由貿易協定〕

２国間または多国間で関税その他の貿易障壁を撤廃し，自由貿易地域をつくるため締結される協定。

② EPA〔経済連携協定〕

貿易の自由化に加え，労働力の移動，金融・流通などサービス分野の自由化・投資の自由化，知的財産権の保護など，包括的な連携を目指す協定。WTO〔世界貿易機関〕の多国間交渉〔ラウンド〕は長期にわたり難航するため，特定の２国間または多国間での自由化が進められている。

※日本のEPA締結国は，締結順に**シンガポール**（2002年），メキシコ，マレーシア，チリ，タイ，インドネシア，ブルネイ，ASEAN全体，フィリピン，スイス，ベトナム，インド，ペルー，オーストラリア，モンゴル，EUの16カ国・地域。

③ TPP〔環太平洋経済連携協定〕

2006年に発効したシンガポール・ブルネイ・ニュージーランド・チリの４カ国によるEPAが拡大したもの。**日本も安倍晋三内閣が2013年に正式に参加を表明**し，アメリカ・カナダ・メキシコ・ペルー・オーストラリア・マレーシア・ベトナムを合わせた12カ国で交渉が続き**妥結したが，2017年にアメリカのトランプ大統領が離脱を表明し11カ国となる**（2018年12月30日にTPP11として発効）。

※関税の撤廃・削減だけでなく広範囲な分野を含む包括的協定。

第 20 講　経済分野確認テスト

1　発展途上国〔開発途上国〕と先進国〔先進工業国〕との間の経済格差とそれに付随(ふずい)する諸問題を何というか？

①南北問題　②南南問題　③貿易摩擦問題　④サプライチェーン

2　世界人口約 78 億人のうち，どのくらいの割合の人が発展途上国に暮らしているか？

①約９割　②約８割　③約５割　④約３割

3　1964 年の第一回 UNCTAD〔国連貿易開発会議〕総会時のスローガンを選べ。

①「かけがえのない地球」　②「援助よりも貿易を」
③「援助も貿易も」　④「顔の見える援助」

4　国連資源特別総会で NIEO〔新国際経済秩序〕樹立に関する宣言が採択されたのは，どの出来事の翌年にあたるか？

①第二次世界大戦終結　②ニクソン＝ショック〔ドル＝ショック〕
③第一次石油危機　④第二次石油危機

5　世界第１位の産油国（2019 年現在）を選べ。

①ロシア　②サウジアラビア　③アメリカ　④イラン

6　次のうち, 中南米 NIES〔新興工業経済地域〕としてふさわしくないものを選べ。

①ブラジル　②アルゼンチン　③メキシコ　④キューバ

7　BRICSのうち，最も国土面積も狭く人口も少ないが，2010年にFIFAワールドカップを開催するなど成長の著しい国とは？

①ブラジル　②ロシア　③インド　④南アフリカ

8　「債務不履行」をカタカナで何というか？

①リストラクチャリング　②リスケジューリング
③デフォルト　④ケイパビリティ

9　1998年にアジア人として初めてノーベル経済学賞を受賞したインド生まれの経済学者とは？

①シャカ　②ガンジー　③ネルー　④アマルティア＝セン

10　2019年現在,国連が表明しているODA〔政府開発援助〕の対GNI〔国民総所得〕比目標の数値とは？

①0.1%　②0.7%　③1％　④3％

11　2002年，日本が最初にEPA〔経済連携協定〕を結んだ国とは？

①シンガポール　②メキシコ　③チリ　④モンゴル

解答

1	①	2	②	3	②	4	③	5	③
6	④	7	④	8	③	9	④	10	②
11	①								